

## 外来がん治療認定薬剤師(APACC) 認定を目指すに当たって

申請資格(一部抜粋、詳細は日本臨床腫瘍薬学会 HP 参照)

- ① 薬剤師としての実務経験が3年以上あること
- ② 日本臨床腫瘍薬学会の正会員であること
- ③ 日本薬剤師研修センター研修認定薬剤師／日本病院薬剤師会 日病薬病院薬学認定薬剤師等何れかの認定薬剤師または専門薬剤師の取得
- ④ 必要な学会単位60単位以上の履修
- ⑤ 外来のがん患者の薬学的介入実績の要約(事例)を10例提出
- ⑥ 上記をすべて満たし、申請手続き上の不備・不足がなかった場合、筆記試験を受験することができる。
- ⑦ 事例審査、筆記試験の合格者は面接試験の受験資格を得る。
- ⑧ 認定試験すべてに合格後、登録し認定薬剤師。

③に関しては、例えば日本薬剤師研修センター研修認定薬剤師は新規申請に最短で4年、日本病院薬剤師会 日病薬病院薬学認定薬剤師は新規申請に最短で3年かかるのでその間に病院等で勤務していれば①の要件も満たすこととなります。並行してがん領域の講習または研修に参加して単位を集めることが可能です。

当院でのがん領域の服薬指導に関して、新人は病棟業務等入院患者への服薬指導から行う方針であり外来患者への指導は少し後になりますが、携わったがん患者の介入症例を作成します(10症例提出)。③、⑥共に、今はWEBの講習や学会等も多く、空いている時間を上手く使いながら、単位の取得が可能です。長期の研修等で他施設に出向することなく、認定取得を目指せるのもAPACCの良い点かと思います。